

志賀氏の反撃成つて 首位再び奪還す

田島、藤田新人連も進出

連日数十票の僅少の差で交互に首位を奪い合つてきた志賀、立花両氏は三十一日遂に約五百票を離して志賀氏異常の進出、齊藤氏また二千台に跳ね上つて一舉志賀、立花の両氏追撃に急である、更に市議戦線にも大きな異動がみられ、トップの内山八百四十五を算し、長瀬、江尻を並べてこの王座に迫り、新人田島、齊藤、藤田、立花、突然出馬と共に当選圏に入り、現役西丸、藤田も當選圏に突入り、最後尾の柳井安子さんも中位のしり、次点に落ちた木村は辛うじて再入選、社小野幸次郎氏は次点に落ち、縮切り余すところ五日となつた。

退職幹部に團長賞

泉村消防團出初式

泉村消防團出初式は二十九日午前九時より全村中学校々庭に於いて團長以下一九〇余名の団員に村長始め多数の来賓の出席あつて盛大に行なわれ、まず式後團員の分列式及び機械器具の操作あり、退職幹部四名に團長より表彰状及び記念品の贈呈のほかに消防長より永年勤続者各分團一名に感謝状が贈られて閉会した。

船舶法違反

福吉丸船長が書類送検

小名浜海上保安部では、本籍青森縣八戸市大字小野野字北横町一三福吉丸船長佐々木富夫(二七)を船舶法違反及び密漁容疑として取調中とのこと、二十九日書類送検した。佐々木は去る一月二十日午後三時頃小名浜港内にて全保安部の立入検査に於いて書類送検の模様。

自由の名の下に 合理化された暴力

小かじ 昭

何でも反対するのではなく、私達の考えで、どうしても反対しなければならぬものに対して反対してもよい、と話したことがある。

治安維持法違反事件の了審調書では、親のいうことに盲従するのには封建的の道徳なりとし、己が正しいと信じた場合は親に反対してもあつた、これが実行を謀るべきも、となして革命に對する態度を示唆し、以つてコミンテルン及び日本共産黨の目的遂行に資したるものとなり……とされ昭和十八年有罪の判決をうけてゐる。

もともと日本帝國國民に對つて政治的自由は與へられてならないものである、何よりも表現の自由は十分に封殺されてゐなければならなかつた。

このように國民を地獄にあつた、それにも拘らず、國民は政府から援助の手を差しのべられず、この苦しい生活の中、抱へた血涙で莫大な金がかり、もうからぬ債権、戦争は、縛つて労働者農民の不當に重く負擔を押しつけ、労働者が戦場から行われ、資源として、労働者の生命まで犠牲に供されてきた。

軍部的、警察的専制支配者に右翼暴力團、特別高等思想警察が働かれていた暗黒の日本帝國主義下における農民、労働者、傭給生活者、漁民、中小企業者、学生等の廣汎なる社會層の自由といふものは、實にかくの如く、今でも進んでい

回 歸

砂押與一

吼え狂う風
視野をささぎる一面の砂塵
それがキラキラ
雲母のように光るのだ
ある日、私
は長い彷徨のすえ
私を支える何物もない
灰色の曠野を歩いて
日はチクタク痛み
咽喉は焦げつく程の乾きよう
進退きわまり
私に思はずよるよるそこへ倒れる
私の上にはサラサラと降りつもる黄塵
それがいつしか花吹雪となり
遠い故郷が虹のようにかき
さうなうら
さうなうら
遠い故郷よ
我が愛したすべての人々よ
此の世でまためぐり逢わなかつた
善悪の人達よ
さうなうら
そして曠野は
再び
何事もなかつたような静けさにかえるのだ
昭和二十五年以來國籍證明を有せしめて操業を
なすべく書類送検
なすべく書類送検
なすべく書類送検

印刷なら
小名浜町
電話 219
387

御履物の御用命は
會津桐下駄専門の
野島履物店
小名浜町古港
金星座前

湯本温泉みやげ
湯の里
新高パン店
電話 236

産業闘士の店
マルニの誇りは
自製品の強み
見てニッコリ
買つて経済
續子ヤンパー専門店
平市大町
2マルニ商店
電話(呼)五三〇

移轉御知せ
今度西町商工会前に移轉致しました
御引立の程を伏して御願申上ります
造花佛具 **本田葬祭具店**
小名浜町 商工会前

市長市會議員模範選挙
投票用紙
市長候補者
市會議員候補者
氏名
氏名
投票所 磐城日日新聞社

常磐線唯一の
温泉旅館
小名浜町公園内
刺蒸 **萬里莊**
旅館
電話二七五番
御座敷女中数名急募面談

冬は洋装より復古調へ!!
お正月の晴着は
和装とお決め下さい
お正月の晴着に!!
御贈答用に!!
御仕着用に!!
只今舊年末サーブिस
全商品奉仕中です
是非一度御来店御批判下さい
訪問着・御召・銘仙
結城・サージ類
特に豊富に取揃えて有ります
品質本位・新柄の店
H 樋口呉服店
小名浜町橋本 電話三〇四番